

徳島県復興指針に係る事前復興の取組状況について

令和元年12月の徳島県復興指針策定後、1年が経過したため、指針に掲載した事前復興の取組について、進捗状況等を取りまとめ、徳島県復興指針推進委員会に報告しました。

事前復興の取組733項目の取りまとめ結果の概要は、次のとおりです。

1 事前復興の取組状況

全733項目において着手済

(1) 施設整備、システム構築、備蓄	48項目／全733項目（6.5%）
(2) 訓練、講習会・研修等人材育成関係の実施	184項目／全733項目（25.1%）
(3) 計画・マニュアル等の策定、改定、見直し	84項目／全733項目（11.5%）
(4) 組織・協力体制の構築、協議会等の開催	118項目／全733項目（16.1%）
(5) 調査、情報収集、台帳整備	115項目／全733項目（15.7%）
（※重複含む）	

＜主な取組＞

- ・完了：復興関連業務の地域防災計画への位置付け、万代庁舎・警察本部庁舎の代替機能整備
- ・着手中：応急危険度判定コーディネーターの人材育成
 - ：災害廃棄物対策に関する訓練、人材育成
 - ：社会福祉施設等に対する応援職員のスキーム構築
 - ：外国人のための防災研修会及び災害訓練の実施
 - ：多様な支援主体を受け入れるための人材育成
 - ：復興まちづくりイメージトレーニングの実施
 - ：県内事業者のBCP策定の推進 など

2 事前復興における新型コロナウイルス対策の必要性

対策必要：188項目／全733項目（25.6%）

＜主な取組＞

- ・人数制限や、会場の分散、仕切パネル、検温、入退時の手指消毒、換気
- ・現場とオンラインのハイブリッド方式や、オンラインのみの開催
- ・YouTube等、後日でも確認可能なWeb配信への切替
- ・調査訪問における郵送や、インターホンでの説明、インターネット回答等非接触型対応
- ・被災地への応援派遣職員に対するPCR検査等